

平成23年度予算決まる

「市民と地域の活力を創出」

「健全財政を堅持」

予算総額 196億4,052万円

一般会計	113億5,600万円
特別会計	76億2,911万円
企業会計	6億5,541万円

第5次勝山市総合計画がスタート

平成23年度は「第5次勝山市総合計画」の初年度であり、今後10年間の道筋をつける年度と位置づけています。計画の基本方針である「エコミュージアムの新たな展開による市民力向上」「市内各地区の地域力向上」を図り、長期的展望に立った持続可能なまちづくりを目指します。

そのために、新年度予算では限られた財源を重点的に配分することで、積極的に新規事業を予算化し、継続事業の再編・見直しを行いました。

予算総額は前年度0・3%増

一般会計当初予算は113億5600万円、前年度比1・5%の減（金額にして1億7800万円の減）、各特別会計と水道企業会計を含めた予算総額は196億4052万円で、前年度比0・3%増（金額にして6766万円の増）となりました。

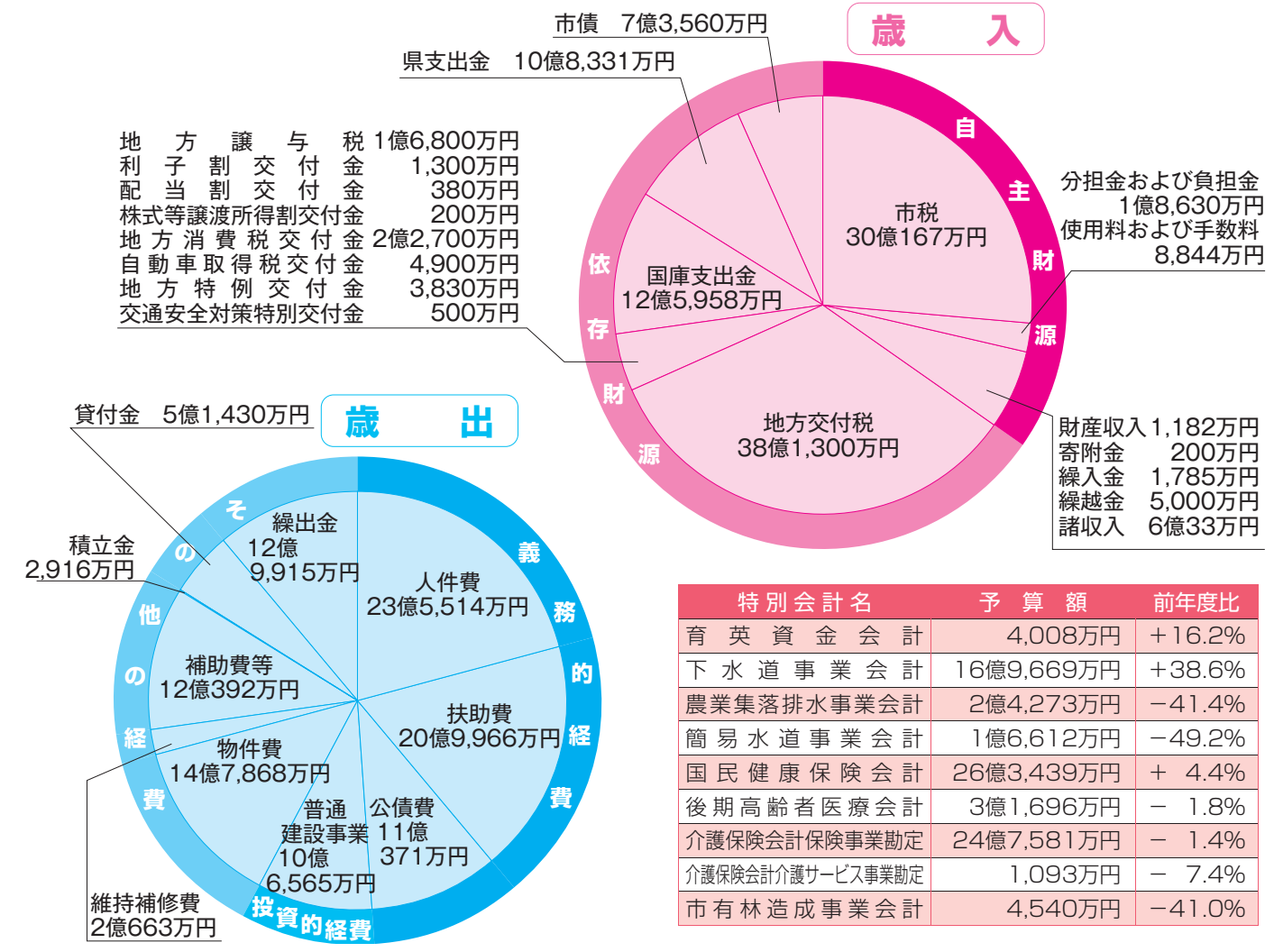
2年続けて財政調整基金に頼らない

歳入予算では、個人市民税、固定資産税などの落ち込みに対して、法人市民税は若干持ち直しを見込み、市税全体で前年度比0・4%増の30億167万円を計上しました。また、地方交付税は昨年度とほぼ同

限られた予算を重点配分

歳出予算では、建設工事関係の投資的経費で学校体育館の耐震工事を国の補正予算を活用して平成22年度へ前倒ししたことや、地域住宅計画事業の減額などにより、前年度比24・4%減の10億6565万円となりました。また、児童、障がい者、高齢者、生活保護関係などの扶助費は、20億9966万円で、前年度比5・7%の増となりました。

また、平成23年度末の一般会計普通債残高は、前年度末と比較して約4億8300万円減額の約51億6600万円となることを見込まれ、財政健全化へさらに一歩前進したといえます。



特別会計名	予算額	前年度比
育英資金会計	4,008万円	+16.2%
下水道事業会計	16億9,669万円	+38.6%
農業集落排水事業会計	2億4,273万円	-41.4%
簡易水道事業会計	1億6,612万円	-49.2%
国民健康保険会計	26億3,439万円	+4.4%
後期高齢者医療会計	3億1,696万円	-1.8%
介護保険会計保険事業勘定	24億7,581万円	-1.4%
介護保険会計介護サービス事業勘定	1,093万円	-7.4%
市有林造成事業会計	4,540万円	-41.0%

勝山さんちの家計簿

平成23年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
市税などの自主財源 39億5,841万円	給料・パート収入 25万円
地方交付税、国・県支出金など 66億6,199万円	両親からの仕送りなど 42万800円
市債発行 7億3,560万円	各種ローンの借入 4万6,400円
収入計 113億5,600万円	収入計 71万7,200円

例えば年収を300万（月収25万円）とすると・・・

平成23年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
繰入金・補助費・出資金・貸付金など 30億1,737万円	子どもへの仕送り・各種会費など 19万600円
人件費 23億5,514万円	食費 14万8,700円
扶助費 20億9,966万円	医療費 13万2,600円
普通建設事業・維持補修費 12億7,228万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 8万300円
公債費 11億371万円	ローン返済 6万9,700円
物件費 14億7,868万円	光熱水費・被服費など 9万3,400円
積立金 2,916万円	新たな預貯金 1,900円
支出計 113億5,600万円	支出計 71万7,200円

